

# 2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

(敬称略)

## 第 1 事業の状況

### 1 「公益目的事業」(公 1)の実施状況

#### (1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催 (定款第 4 条第 1 項)

事業収入なし

鑑賞会事業支出(予算) 1,970,000 円

鑑賞会事業支出(実績) 1,511,658 円

\*うち報償費(出演料・出展者報酬) 820,000 円

#### A 「音楽鑑賞会」の開催 (すべて入場料無料)

- ① 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズのコンサートを 1 回開催した。(主催)
- ②～③ 北海道で活動する中堅音楽家による、クラシック音楽ファン拡大を目的とした「オトナのためのコンサート」を 2 回開催した。(主催)
- ④～⑥ 道立美術館で北海道・開催地ゆかりの若手音楽家によるコンサートを開催した。(共催)
- ⑦ 後志地区 5 か所の美術館で、北海道で活動する若手～中堅音楽家によるコンサートシリーズを 5 回開催する予定だったが次年度に延期した。(共催)

各事業詳細は以下のとおり。

#### ①【道銀文化財団 ARTIST BANK 2022 北海道銀行本店ロビーコンサート】

##### 針生美智子ソプラノコンサート My favorite Songs

日 時：2022 年 11 月 9 日(水) / 18:00 開演

会 場：北海道銀行本店営業部 1 階ロビー

出 演：針生美智子、一鐵久美子(ソプラノ)、鎌倉亮太(ピアノ)(ともに札幌市)

入場数：100 名(はがきによる抽選/鑑賞希望者数のべ 502 名)

内 容：北海道の音楽界を牽引してきた音楽家を招いてのコンサートシリーズ 3 回目。

1995 年度第 5 回 道銀芸術文化奨励賞受賞者針生美智子が出演した。

2020 年からの延期開催。

多彩なプログラムと共演者一鐵、鎌倉との楽しいトークで会場は盛り上がり、来場者にとってはコロナ禍の中、上質な音楽に触れる豊かな時間を過ごした。

#### ②【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN# 3 北海道銀行本店ロビーコンサート】

##### マリンバの夕べ～響き渡るローズウツの音色

日 時：2023 年 3 月 6 日(月) / 18:00 開演

出 演：沓野勢津子、真鍋陽絵(ともにマリンバ・札幌市)

入場数：96 名(はがきによる抽選/鑑賞希望者数のべ 508 名)

#### ③【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN# 4 北海道銀行本店ロビーコンサート】

##### ～春よ来い♪～

日 時：2023 年 3 月 7 日(火) / 18:00 開演

出 演：中倫子(ヴァイオリン)、竹内紫(フルート)、小笠原いづみ(コントラバス)(ともに札幌市)

入場数：103 名(はがきによる抽選/鑑賞希望者数のべ 515 名)

#### ②～③(共通)

会 場：北海道銀行本店営業部 1 階ロビー

内 容：コロナ禍で 2 年間中止してきた本シリーズだったが、Art Ensemble、ARTIST BANK 両シリーズいずれも反響が大きかったことから、コンサート開催を望む声に応じて 2 夜連続開催を企画した。

#### ④【Art Ensemble # 15 北海道立近代美術館コンサート】

##### ピアノで奏でる穏やかなハーモニー

日 時：2022年9月24日(土) / 18:30 開演

出 演：藤村美里、越智美月（ともにピアノ・札幌市）

入場数：101名（100席限定/電話受付による先着順・受付開始後2時間半で満席）

#### ⑤【Art Ensemble # 16 北海道立近代美術館コンサート】

##### 三輪主恭バリトンリサイタル 歌で聴く日本の情景

日 時：2022年10月8日(土) / 18:30 開演

出 演：三輪主恭（バリトン）、三輪栞（ピアノ）（ともに札幌市）

入場数：90名（100席限定/電話受付による先着順・受け開始後4時間で満席）

#### ④～⑤（共通）

選 考：北海道在住の若手演奏家（グループ）を公募により選考（2020年に選考終了）

会 場：北海道立近代美術館 展示室 A（美術展鑑賞は当財団による招待）

内 容：出演者はいずれも、会場・客層に合わせて、クラシック曲を軸に多彩なプログラムを構成し、丁寧に心を込めて準備した。それぞれのタイトルに込められた思いの通り、満席の鑑賞者を前に若手音楽家らしいフレッシュな演奏を披露した。美術館の一般公開時間終了後に、予約者限定で美術展を鑑賞し、同会場でコンサートを開催したが、大きな混乱もなく、落ち着いた雰囲気美術と音楽の両方を鑑賞することができ、Art Ensemble シリーズの企画本来の意義を完全に実現できた。

#### ⑥【Art Ensemble # 17 北海道立旭川美術館 開館 40 周年記念コンサート】

##### バラエティ豊かな打楽器が描く音の世界

日 時：2022年12月17日(土) / 11:00 開演・14:00 開演（同内容2公演）

会 場：北海道立旭川美術館 1階ロビー

出 演：石川千華（マリンバ・旭川市）、白戸達也（打楽器・札幌市）

選 考：道北地方出身もしくは在住の若手音楽家（グループ）を公募により選考

入場数：2公演合計106名(椅子席各回40席/電話・FAXメールによる事前予約制)

内 容：開館40周年を迎えた旭川美術館の記念事業と重ね、共催により開催した。

ともに道北出身の若手音楽家2名による打楽器デュオリサイタル。

旭川でマリンバの生演奏は珍しく、来場者の多くが終演後に楽器に触れるなど、興味深く演奏家の話に聞き入っていた。コロナ禍の中、入場制限など厳しい条件ではあったが、来場者からは開催を喜ぶ声が数多く聞かれた。自主公演が難しい中、財団・美術館共催でのコンサート出演は若手演奏家にとっても大変有意義なものとなった。

#### ⑦【しりべしミュージアムロード・コンサート 2022】

しりべしミュージアムロードに加盟する後志地区5美術館ロビー等において、北海道ゆかりの音楽家によるコンサートを計5回開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止し、2023年度に延期した。（共催/実行委員会形式）

### B 「美術鑑賞会」の開催（すべて入場料無料）

- ① 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズの美術展を1回開催した。（主催）
- ② 北海道で活躍する中堅美術家による立体造形作品の美術展を1回開催した。（主催）
- ③～⑥ ギャラリーの貸館休館期間を活用し、北海道で活動する若手～中堅の美術家による美術展を4回開催した。（主催）
- ⑦～⑨ 北海道銀行本・支店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ学生や高校美術部生の作品展を毎年で開催した。（共催）

各事業詳細は以下のとおり。

①【道銀文化財団 ARTIST BANK 2022 北海道銀行本店ロビー展】

荒井善則展 場の氣—彩センの行方

会 期：2022年8月2日(火)～9月30日(金) / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部1階ロビー

出展者：荒井善則（現代美術家・旭川市）

内 容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いて開催する個展。シリーズ第5回目。旭川を拠点に世界でも活躍する現代美術家荒井善則が、プリントペインティングを基とした平面作品や立体作品を自在に操り銀行ロビーに配するインスタレーション展。理解が難しいともいわれる現代アートをあえて銀行という日常の中で見せることで、鑑賞者の前にごく自然に現れ、かつ爽やかな刺激を与えるようなユニークな美術展となった。

②【道銀文化財団企画展 ■CUBE■2022】

長澤裕子 くものうえはいつもはれ

会 期：2022年12月13日(火)～2023年1月14日(土) / 年末年始（12/31～1/3）を除く  
照明点灯時間 7:00～20:00 / ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞

会 場：「らいらっく・ぎやらりい」（北海道銀行本店ビル1階）

出展者：長澤裕子（彫刻家・和寒町）

内 容：年末年始を利用し、立体・空間造形を手掛ける美術家による、施錠されたギャラリーを一つの展示ケースに見立てたインスタレーション作品展シリーズの第10回目。和寒町在住の長澤裕子による木、石、布を素材とするインスタレーション作品展。ギャラリーの特性を活かした密閉空間での展示は作家の創作意欲を掻き立てるもので、作家にとっても貴重な経験となった。  
会期とライトアップ時間が長いことから、ビルを行き交う人が自然と芸術に触れる絶好の機会ともなった。

③【道銀文化財団アーティストファイル】

林亨展「心を浮かべて」

会 期：2022年4月18日(月)～4月24日(日)

出展者：林亨（美術家・札幌市）

北翔大学教育文化学部芸術学科教授。北翔大学は本店ロビー展参加大学。

④【道銀文化財団アーティストファイル】

手塚昌広展「摂理と虚構」

会 期：2022年5月16日(月)～5月29日(日)

出展者：手塚昌広（画家・江別市）

北海道札幌厚別高等学校美術教諭。

前任は江別高等学校教諭。江別高校は大麻支店ロビー展参加校。

③～④（共通）

会場等：「らいらっく・ぎやらりい」（北海道銀行本店ビル1階）

照明点灯時間 7:00～20:00 / ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞

内 容：それぞれの美術家が得意とする平面作品をメインに壁面のコラージュや、立体作品をあわせるなどインスタレーション風に構成を工夫しながら展示した。CUBE 展方式により財団とゆかりのある道内美術家に発表の機会を提供し、道民にも気軽に芸術鑑賞を楽しむための企画展を開催できた。

⑤【道銀文化財団アーティストファイル】

佐藤あゆみ個展「ここにいるよ」

会 期：2023年2月26日(日)～3月11日(土)

出展者：佐藤あゆみ（造形作家・札幌市）

⑥【道銀文化財団アーティストファイル】

吉成翔子個展「今日もとことこ」

会 期：2023年3月13日(月)～3月29日(水)

出展者：吉成翔子（金属造形作家・札幌市）

⑤～⑥（共通）

会場等：札幌駅前支店「道銀ミニギャラリー」（ATM コーナー併設のオープンギャラリー）  
照明点灯時間 7:00～21:00

内 容：ともに金属を素材とする立体造形作品を空間に配置するインスタレーション作品展。  
会場の展示環境に対応できる展示方法を工夫した、春を感じる新鮮な作品展となった。

⑦【北海道銀行本店ロビー展】

大学・美術学院学生展

会 期：2022年4月～11月 / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：札幌大谷大学、札幌武蔵野美術学院、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学岩見沢校

内 容：公募展受賞作品など各校の選抜作品を、公共の場ともいふべき銀行ロビーで展示し、  
より身近に道民が美術鑑賞を楽しむことができた。

道内で美術を学ぶ学生たちの創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

授業の一環として利用する大学もあり、学生への学びの場の提供にもつながった。

⑧【北海道銀行本店ロビー展】

現在(いま)を見つめる眼 Vol.17 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2023年1月4日(水)～3月31日(金) / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：北海道札幌北陵高等学校、留萌高校他、道内高等学校計 10 校

内 容：2023 年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門推薦の平面作品 10 点を展  
示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。

美術部生徒の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

例年通り、出展 10 作品には特注額を贈呈した。

⑨【北海道銀行支店ロビー展】

高校美術部の生徒作品展

会 期：通年 / 平日 9:00～15:00

会 場：宮の森パーソナル支店…札幌西高等学校

出展校 屯田パーソナル支店……札幌北陵高等学校

旭ヶ丘支店……………市立札幌旭丘高等学校

白石支店……………札幌啓成高等学校（以上札幌市）

大麻支店……………大麻高等学校・江別高等学校（江別市）

岩内支店……………岩内高等学校（岩内町）

内 容：各校美術部生徒の作品 1～2 点ずつを概ね 1 か月ごとに作品を入れ替えながら展示し、  
多くの地域住民が地元の高校生の感性豊かな作品を鑑賞した。

鑑賞者にとっては、新しい作品を楽しみに来店し、美術部生徒も展示を目標に意欲を  
持って取り組み、創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

新型コロナの感染拡大状況により、展示替えのサイクルを減らして展示を継続した。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第 4 条第 4 項)

	事業収入なし
助成事業支出(予算)	1,645,000 円
助成事業支出(実績)	1,700,525 円
* うち助成金	1,570,000 円

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

A 【2022 年度事業—助成金交付・立ち合い／視察】 助成対象先全 31 件に助成金を交付した。  
(各事業実績は別記参照)

B 【2023 年度事業—公募・選考】 対象事業と交付金額は 2022 年度第 4 回理事会で決定した。

公 募：2022 年 10 月 25 日～12 月 25 日  
選考委員会：2023 年 1 月 27 日(金)、北海道銀行本店ビル 2 階会議室にて開催  
音楽部門 前川公美夫 (選考委員長)、八木幸三、  
美術部門 國松明日香 (選考副委員長)、柴勤 (以上 4 名)  
応募総数：58 件 (音楽部門 41 件、美術部門 17 件)  
選考の結果：候補者 46 件 (音楽部門 33 件、美術部門 13 件) を選出、決定。  
詳細は別紙参照。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰 (定款第 4 条第 2 項)

	事業収入なし
奨励事業支出(予算)	1,260,000 円
奨励事業支出(実績)	1,267,994 円
* うち賞金	1,000,000 円

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

なお、2022 年度に限り、前年度から延期した贈呈式・記念展をそれぞれ開催した。

A 【2021 年度 第 31 回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

諸般の事情により 2021 年度より開催を延期していた。なお、賞金は 2021 年度に授与している。

開催日：2022 年 4 月 7 日(金)  
会 場：北海道銀行本店ビル 4 階会議室  
受賞者：音楽部門 倉岡陽都美 (声楽—ソプラノ)  
美術部門 吉田みなみ (彫刻—石膏)

B 【2022 年度 第 32 回 道銀芸術文化奨励賞 選考委員会】

開催日：2022 年 10 月 12 日(水)  
会 場：北海道銀行本店ビル 4 階会議室  
出 席：前川公美夫 (選考委員長)、柴勤 (選考副委員長)、  
本堂知彦、八木幸三、土岐美由紀、佐藤康平 以上 6 名  
選 考：候補者及び選考の結果は (資料 1) のとおり。

## C【2022年度第32回道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

開催日：2023年2月8日(水)

会場：北海道銀行本店ビル4階会議室

受賞者：音楽部門 岩田真由美（ピアノ）

美術部門 藤原千也（彫刻）

なお、音楽部門受賞者は2023年5月19日「第37回道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演した。美術部門受賞者の受賞記念展（ギャラリー事業）は2023年2月に開催した。

（後記参照）

### （4）ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営 （定款第4条第3項）

ギャラリー事業収入(予算)	945,000円
ギャラリー事業収入(決算)	1,098,000円
ギャラリー事業支出(予算)	460,000円
ギャラリー事業支出(決算)	547,251円

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、北海道銀行本店ビル1階の「らいらっく・ぎやらりい」と札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」を運営した。いずれも新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一部期間の利用を出展者からの申し出により中止した。

なお、特例として新型コロナウイルス感染が沈静化するまで、直前のキャンセルでもキャンセル料を免除している。

## A 「らいらっく・ぎやらりい」

### ① 一般利用者への貸し出し

予約を先着にて受付け、40週の個展、グループ展等へ貸出した。

### ②【第31回道銀芸術文化奨励賞受賞記念展】

#### 吉田みなみ展（2021年度からの延期開催）

会期：2022年4月5日(火)～4月10日(日) / 10:00～18:00 / 2022年2月から延期

内容：会期の延期のため作家は新作にも着手し、会期は短かったが充実した個展となった。

会場中央に置かれた代表作の大型の石膏作品を前に鑑賞者は驚きと感動を実感した。

人物をテーマとした温もり溢れる作品はコロナ禍に疲れた鑑賞者の心を癒していた。

入場数：299名

### ③【第32回道銀芸術文化奨励賞受賞記念展】

#### 藤原千也展

会期：2023年2月7日(火)～2月19日(日) / 10:00～18:00

内容：総重量1t、長さ6m超の大型木彫レリーフ作品を作家自らが運転するトラックと重機を操作し中札内村から運搬した。二日間に渡る壮大な展示作業を経ての開催となった。ギャラリーいっぱい広がる木の香りと薄暗い光に浮かぶ力強い作品が放つエネルギーは鑑賞者を圧倒し、大きな感動を呼んだ。

入場数：595名

## B 札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」

### ① 一般利用者への貸し出し

予約を先着にて受付け、2週間1単位で17単位の個展、グループ展等へ貸出した。

## 2 「その他事業」(他1)の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(定款第4条第4項)

事業収入なし

連携支援事業支出(予算)	300,000円
連携支援事業支出(実績)	300,000円

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

当年度は公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

2022年4月 「パトロネージュ会員」年会費一口として200,000円

2022年11月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として100,000円

## 3 事務局の管理・運営(法人会計)の実施状況

事業収入なし

管理費支出(予算)	240,000円
管理費支出(実績)	154,741円

各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。

## 4 2022年度収支決算(2023年3月31日現在)

(単位:千円)

	期初予算	決算	備考
<b>収入合計</b>	<b>5,890</b>	<b>6,076</b>	
(公1)事業費支出	5,335	5,027	
(他1)事業費支出	300	300	
(法)法人会計支出	240	155	
<b>支出合計</b>	<b>5,875</b>	<b>5,482</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>15</b>	<b>594</b>	

### ※ 2022年度末資産

	期初予算	決算	備考
<b>前期繰越金</b>	<b>332,677</b>	<b>332,677</b>	
現金預金	5,085	5,085	普通預金(前受金14,000円含む)
特定資産(公益事業活動資産)	4,084	4,084	投資有価証券・定期預金
特定資産(鑑賞会事業活動資金)	10,010	10,010	定期預金
基本財産	313,498	313,498	投資有価証券・定期預金
<b>次期繰越金</b>	<b>332,692</b>	<b>328,539</b>	
現金預金	5,100	4,630	普通預金
特定資産(公益事業活動資産)	4,084	4,045	投資有価証券・定期預金
特定資産(鑑賞会事業活動資金)	10,010	10,045	定期預金
<b>特定資産(鑑賞会事業準備資金)</b>	<b>0</b>	<b>1,000</b>	<b>普通預金</b>
基本財産	313,498	308,819	投資有価証券・定期預金

予算に記載した次期繰越金の固定資産額は期中にそれぞれの評価額に変動がないものとして表示する。

決算に記載した次期繰越金の固定資産額は決算日の市場価格に基づく時価法により算出している。